



3Dプリンターと、なんじいクッキーカッターをPRする武田政樹会長=23日、那覇市・県立武道館鍛練道場棟

## 3Dプリンター 活用でコスト減

情報システム会社

情報通信システム開発のインタラクティブラボトリー沖縄（うるま市、嘉数岩夫社長）は、中小企業向けに3D

プリンターを使った低価格ものづくりサービスをPRする。3Dプリンターで造った小物や南城市観光協会と共同開発した「なんじいクッキーカッター」を展示する。

3Dプリンターはアイテムのデザイン設計をデータ化す

れば、2回目以降はすぐに製造が可能。デザインを持ち込んだ場合、データ化などの初期費用が3300円。その後は1つ当たり500円程度で造ることができる。製造時間は縦横8センチ、高さ1センチ程度で約1時間。

金型を造る必要がなく、試作品や少量注文の場合にはコストを抑えられるほか、1個単位で注文、即製造できるため、在庫を抱える必要もないという。武田政樹会長は「3Dプリンターを使ったものづくりで価格破壊を目指したい」と話した。